

鹿児島島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれています。一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。



●「宇宙への夢のかけはし種子島」をキャッチコピーに、3月16日、新種子島空港が開港しました。2000メートルの滑走路を持ち、これまでの空港より大型の飛行機による離着陸が可能になるため、観光客をはじめ、より多くの方の利用が期待されています。空港ターミナルビルは「福祉のまちづくり条例」施設整備基準に適合しており、身障者用のトイレ

快適な空の旅の玄関口、コスモポートがついに開港。

### 新種子島空港

FILE No.1

(中種子町)

住所 熊毛郡中種子町増田2692-64  
TEL 0997-27-5151



や点字ブロックなど、快適に空の旅へとさまざまな設備が整い利用者をサポート。この新空港からは鹿児島空港へ往復4便、大阪伊丹空港へ往復1便が運行されています。愛称は日本最大の宇宙開発施設を持ち、宇宙へとつながる種子島の空の玄関口になって欲しいという思いから「コスモポート種子島」に決まりました。●



利用しやすい身障者用トイレ

スポーツから癒しまで。新しいエンターテインメント空間

### ラウンドワン スタジアム 鹿児島宇宿店

FILE No.2

(鹿児島市)

住所 鹿児島市宇宿2-2-2  
TEL 099-284-0655



入口そばの適合証とインターホン

●大型店舗などの建設が進む産業道路、宇宿エリアにオープンした複合大型アミューズメント施設「ラウンドワンスタジアム鹿児島宇宿店」。ボウリングやカラオケなどももちろん、いろいろなスポーツ&アミューズメントとリラクゼーションフリースペースが、制限時間の間は遊び放題になる「スポーツチャ」など、新しい「遊び」が多数揃っています。建物入り口には「鹿児島県福祉のまちづくり条例適合証」のプレートがあり、



館内随所に設置された点字ブロック



その横にあるインターホンをさえ、車いすでの利用者がスムーズに移動できるようにスタッフがお手伝い。館内は点字ブロックや身障者用トイレなども用意されています。ボウリングのフロアもバリアフリーになっているので、車いすの方や視覚障害の方も気軽に楽しめるということです。未体験のゲームや遊びにチャレンジして、運動不足の解消やストレスを発散してみませんか？●

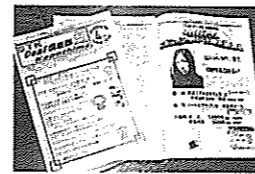
ろう文化の素晴らしさを  
もっともっと伝えたい

聴覚障害者と健聴者が互いに認め合うバリアフリー社会の実現を目指す「デフNet. かごしま」。平成10年に聴覚障害に関する情報紙の創刊からスタートし、イベントの企画、聴覚障害児のための学習塾および学童保育の運営と活動の幅を広げ、昨年6月にNPO法人団体となった。

「人の心を豊かにするだけでなく、あらゆるポーターを超えて通じ合うことを可能にするのが文化。そこで、ろうの世界にもさまざまな文化があることを広く伝えたい」と語るのは、「ありば通心」でも紹介した理事長の澤田利江さん。澤田さんをはじめ聴覚障害を持つスタッフの最大の願いは、手話を通じてろう者と健聴者が「コミュニケーション」できるようになることだ。澤田さんの取り組みは、のちに鹿児島県聾学校の先生との出会いを経て大きく前進。平成14年「For dear」プロジェクトを発足させ、手話語りや演劇の上演、講演会を通じて、ろう文化や手話の世界の楽しさを聴覚障害者・健聴者問わず多くの人にアピールした。



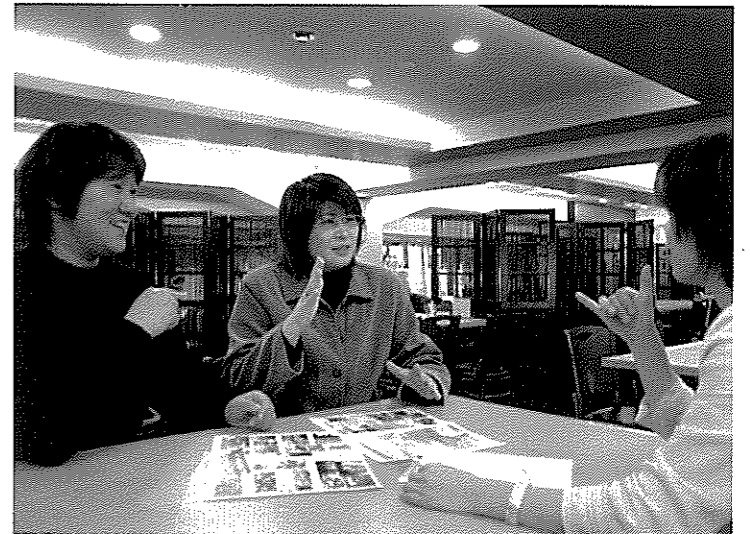
## NPO デフNet.かごしま 人と人とのつながりを経て さらに広がる可能性の輪



聴覚障害関連情報紙「Deaf倶楽部 Kagoshima」は年6回隔月発行



「デフキッズ」の活動の一環として行われたキャンプの様相



口頭での会話と手話を交えながら和気あいあいと。スタッフの周囲はいつもにぎやかな



澤田さんと事務局長の永田さん(右)。健聴者の永田さんは手話の奥深さに惹かれていったそう



明るくパワフルな理事長の澤田さん

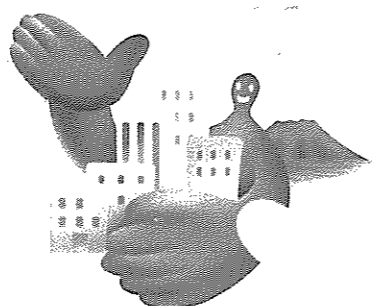
デフNet.かごしまホームページ  
<http://www.deaf-net.org/>

「情報紙の発行を、ホップ、」For dear」の活動を「ステップ」とするから、現在は「ジャンプ」まで行けたかな(笑)」と澤田さん。平成10年に創設した聴覚障害児のための学習塾「デフスクール」に加え、一昨年にはアメリカ手話や工作など多彩な活動を通じて聴覚障害を持つ子どもたちの健全な育成をサポートする学童保育スペース「デフキッズ」設立を実現した。学校と家庭以外の環境にも身を置き、いろんな人と出会うことにより行動範囲や人間関係を広げていってほしい。こうした思いが実を結び、「デフスクール」からは専門学校進学など新たな夢に向かって教える子たちが果立っている。

「これまで歩んできた8年間の重みを感じています。活動の幅を広げることができたのは、人とのつながりがあったからこそ。そう語る澤田さんを筆頭に、正会員・賛助会員含め約50名の「デフNet. かごしま」は、4つの事業に加え次なる目標「重複障害者のために働く場をつくること」の実現に向けてさらに大きく飛躍しようとしている。

子どもの、重複障害者の  
可能性をより広げるために

# 鹿児島県からの お知らせ



## 平成18年4月から「障害者自立支援法」が施行されます。

現在、障害者は知的障害、身体障害、精神障害といった障害種別ごとに分けられ、その種類や年齢により受けられる福祉サービスの内容などが決められていますが、障害者自立支援法により、どの障害の人も共通の福祉サービスが地域において受けられるようになります。

- 働きたい人の支援
- サービス費用をみんなで支え合う  
(原則として費用の1割を負担、ただし所得に応じた自己負担上限額を設定)
- 障害の種類によらない共通のサービス
- 身近な地域でサービスを利用できる仕組み
- 支給決定の仕組みを透明化、明確化

障害者自立支援法の福祉サービスは「自立支援給付」と「地域生活支援事業」から構成されており、総合的に障害者の地域での自立した生活を支援します。

### 市町村

#### 介護給付

障害程度が一定以上の人に生活上または療養上の必要な介護を行います。

- 居宅介護（ホームヘルプ）
- 重度訪問介護
- 行動援護
- 重度障害者等包括支援
- 児童デイサービス
- 短期入所（ショートステイ）
- 療養介護
- 生活介護
- 施設入所支援
- 共同生活介護

### 自立支援給付

障害者・児

#### 訓練等給付

身体的または社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行います。

- 自立訓練
- 就労移行支援
- 就労継続支援
- 共同生活援助（グループホーム）

#### 自立支援医療

障害の種類や年齢により決められていた医療費のしくみが一本化されます。

- (旧)更生医療
  - (旧)育成医療※
  - (旧)精神通院公費※
- ※実施主体は都道府県等

#### 補装具費の支給

補装具の購入や修理にかかる費用の原則1割を自己負担、9割を市町村等が負担します。  
※所得に応じた自己負担の上限額を設定します。

### 地域生活支援事業

市区町村が障害者を総合的に支援する体制をつくり、さまざまな事業を行います。

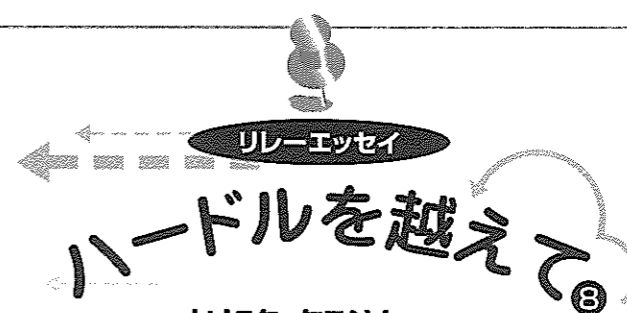
- 相談支援  
(関係機関との連絡調整、権利擁護)
- コミュニケーション支援  
(手話通訳派遣等)
- 日常生活用具の給付又は貸与
- 移動支援
- 地域活動支援センター  
(創作的活動、生産活動の機会提供、社会との交流促進等)
- 福祉ホーム
- 居住支援
- その他の日常生活又は社会生活支援

支援

- 専門性の高い相談支援
- 広域的な対応が必要な事業
- 人材育成 等

都道府県

利用者負担の変更(1割負担)、自立支援医療は平成18年4月から、介護給付や地域生活支援事業の新しいサービス体系への移行は平成18年10月から始まります。詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。



川路 智洋さん  
(南さつま市立金峰中2年)



僕は二分脊椎症という病気で腰から下の感覚がなく、車椅子での生活をしています。僕が小学生の頃、夢中になっていたのはパソコン。小学校3年生から6年生までパソコン教室に通っていましたが、今ではキーボードを見なくても打てるようになりましたが、まだスピードが遅いのもっと速く打てるようになります。金峰中に入學した昨年5月、友達に誘われて吹奏楽部に仮入部しました。音楽室が3階にあるため、部活や音楽の授業のときは階段昇降機を使って移動します。最初はトランペットの練習をしましたが、なかなか音が出なくて苦労しました。やっと音が出るようになった7月に、正式に入部することになりました。顧問の先生から打楽器を勧められ、9月の体育大会のときからパーカッションに楽器が変わりましたが、「トランペットのほうがよかったかな」と思うときもありました。

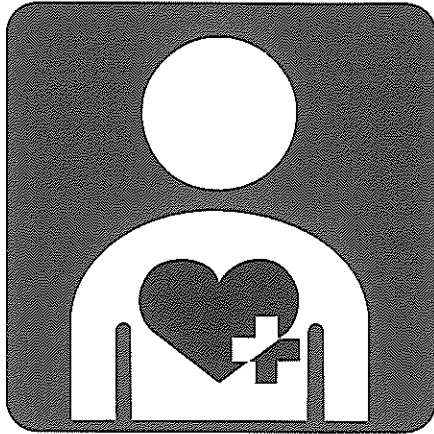
が、今ではパーカッションも大好きになりました。パーカッションはリズム感がないと難しい楽器です。毎日約2時間、基礎練習の日々が続きました。

昨年は体育大会のほか文化祭、旧金峰町役場の閉庁式で演奏することが出来ました。今は次の県大会に向けて練習に励んでいます。今では約20曲のレパートリーがあります。好きな曲は「風の舞い」です。曲によっては難しいものもありますが、今後も吹奏楽部でがんばりたいと思います。また、高校に進学しても楽器は続けたいと思っています。

金峰中には僕が卒業した大田小を含め、5つの小学校の卒業生が集まっています。入学当時はなれなくて大変でしたが、今はみんな親切にしてくれます。僕も同級生、そして吹奏楽部のみんなと仲良くして、中学生生活を楽しみたいと思います。



●川路 智洋さん  
平成4年11月生まれ  
旧金峰町立大田小卒  
現在、金峰中の吹奏楽部に所属



**Q** 外見からはわかりにくい、内部障害や内部疾患を持つ人々への理解を促すマークがあると聞きましたが…。

**A** 「ハート・プラス」マークです。心臓、肺機能、免疫機能、内臓疾患など、身体内部に障害を持つ人は外見からわかりにくいいため、職場や電車の中など様々な場所で誤解を受けることがあります。このマークを着用されている方を見かけたら、内部障害・内部疾患というハンディについて理解し、配慮する必要があります。



マークの図柄は「身体内部に障害を持つ人」を表しています。このマークを着用されている方を見かけたら電車などでは席を譲りましょう。

# ありば

VOL.11 平成18年3月31日発行

「バリア」の逆は「ありば」。

バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、

「ありば」というタイトルにしました。

みんなに住みよいまちを、みんなで作るために。

人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、

それが「ありば」です。

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX.099-286-5558

[E-mail] shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL] <http://www.pref.kagoshima.jp/home/shogaika/fukumachi/fukumachi-top.htm>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後には上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。